

パイン#51-72NB

- 1. 系統** 二液性変性ポリアミドアミン硬化型エポキシ樹脂系ノントール塗料
- 2. 特徴**
- 1) コールタールを含有しない「環境対応型塗料」で、上塗りに着色塗装してもブリードしない。
 - 2) 厚塗りが可能で、厚塗りしても硬化速度に影響しない。
 - 3) 密着性が良好で、可とう性を保持し、耐衝撃性に優れる。
 - 4) 耐薬品性・耐油性・耐水性・耐海水性に優れる。
- 3. 用途**
- 1) 乾湿交番の各種鋼構造物の防食・着色塗装用下塗。
 - 2) 水圧鉄管・タンク・槽類の外表面防食塗装用下塗。

4. 塗料性状

項目		内容			
容 姿		2液性			
荷 姿		18kg セット			
色 相		黒色(標準色)、錆色			
光 沢		3分つや			
密度 (23℃)	塗料	1.35 (主剤・硬化剤混合物の標準)			
	揮発分	0.87			
加熱残分		71wt%			
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	6時間	5時間	3時間	2時間
	硬化*)	72時間	48時間	24時間	15時間
標準膜厚		100μm			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			
貯蔵安定期間(20℃)		12ヶ月			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。
*)硬化乾燥時間は、歩行及び膜厚測定が可能となる目安の時間を示す。

6. 施工上の注意

- (1) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌し均一な状態で熟成し、再度攪拌して塗装する。主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間内に使いきる。
- (2) 被塗面の錆、白錆、油脂、湿気、じんあいなどの有害な付着物は完全に除去する。
- (3) 希釈にはパイン#51-72NB溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- (4) 使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- (5) 10℃以下の温度では、硬化反応がほとんど進行しないので、低温時にはパイン#51-82NBを推薦します。
- (6) 薄塗りは塗膜欠陥の原因となります。必ず所定の膜厚が確保できるよう注意する。
- (7) 上塗り塗装までの塗装間隔が長くなると、密着不良を生じることがありますので、必ず規定範囲内で塗り重ねる。
- (8) 刷毛塗装も可能ですが、刷毛塗では1回あたりの所定膜厚が確保できないことがありますので、塗り回数を増やすなどの処置を講じてください。
- (9) 取扱い上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

5. 塗装基準

項目		内容			
下地処理		ISO-St3(SSPC-SP3)以上			
調合法		主剤：85部、硬化剤：15部(重量比)			
熟成時間		約30分(20℃)			
可使時間	5℃	10℃	20℃	30℃	
	24時間	12時間	6時間	4時間	
塗装方法		エアレス塗装、刷毛塗り			
使用シンナー		パイン#51-72NB溶剤			
塗装方法	塗装方法	エアレス塗装		刷毛塗り	
	希釈率	0~5wt%		0~5wt%	
	標準使用量	0.42kg/m ²		0.19kg/m ²	
	標準膜厚	100μm		60μm	
	UVET管理膜厚	200μm		125μm	
エアレス塗装条件		1次圧 0.5MPa(5kg/cm ²)以上 2次圧 12MPa(120kg/cm ²)以上 チップ No.163-417~725			
塗装間隔	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	最小	96時間	48時間	24時間	16時間
	最大	14日	10日	7日	5日

7. 適合する塗料

下塗：パイン#6010、パイン#6010T他
上塗：パイン#7020H、パイン#1520他

8. 関連法規

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有	第2種有機溶剤含有
有害物質表示	キシレン、エチルベンゼン、トルエン、メタノール、イソブチルアルコール、	キシレン、エチルベンゼン、イソブチルアルコール、1-ブタノール
劇物表示	-	-
球状樹脂表示 硬化剤表示	エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン

9. 使用上の注意 [警告]

- (1) 引火性の液体である。
- (2) 有機溶剤中毒の恐れがある。
- (3) 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

中電工業株式会社 工事部 (塗料担当)

〒734-0001 広島市南区出汐2丁目3番29号 Tel:082-255-2131 Fax:082-255-2251